

第247号・2014年7月25日

発行・東北大学職員組合書記局

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1
内線 片平 (91) 5029
022-227-8888 (TEL)
022-227-0671 (FAX)
編集・コア編集委員会



**解釈改憲
とんでもない!**

**集団的自衛権の
行使容認なんて
許さない!!!**

原発のない社会実現のため

科学者としての闘い方

公開講座「原発廃止のために」

4 / 26 (土)

組合と科学者会議等
が主催して公開講座
「原発廃止のために」
が行われ、明日香壽川
先生（東北アジア研究
センター教授）が「原
子力発電は温暖化対策
の答えではない」、井
原聰先生（東北大学名
誉教授）が「原発は豊
かな生活を約束しない」
と題して講演を行いま
した。

明日香先生といえば
地球温暖化の専門家、
人間社会が排出するC
O2による気候変動に
ついて警鐘を鳴らして
来た方です。現在はエ
ネルギー政策に研究の
焦点は移り「経済学が
研究の中心」とのこと。
反原発、脱原発とい
うと放射能にだけ注目
が集まりがちですが、
それは問題の矮小化で
す。「原発を廃止する
と温暖化が進む」「原
発なしでは日本経済は
大きなダメージを受け
る」。推進派が突きつ
ける主張に、明日香先
生はデータに基づいて
反論します。原発ゼロ
への道は決して平坦で
はありません。立地自
治体財政の原発依存構
造は簡単には解消でき
ません。推進勢力が原
発で儲かるしくみは強
固に形成されています。
しかし脱原発が経済的
に可能で、現に多くの
国や地域が脱原発に進
みつつあるのも事実で
す。原発の益に対して
リスクもコストも大き
すぎるといのが、気
象学者であり現在は経
済学者でもある明日香

先生の答えです。
井原先生は科学技術
史が専門で、講演は日
本の原子力政策を振り
返り、科学者の役割を
問うものでした。戦後、
原子力の「平和利用」
は国民的な支持を受け
て推進されました。し
かし同時に、保守勢力
の影響を強く受けなが
ら推進されてきたのも
事実です。彼らにとっ
て原子力とは核兵器の
ことです。日本が核武
装できる技術を開発・
保持すること
が原子力政策
の根底にある
ことが閣僚か
らも明言され
ています。
「民主・自
主・公開」と
いう原子力利
用の3原則は、
軍事機密や特
許などによっ
て浸食され、
科学者の一部
は、基礎研究
だから、社
会的に有用だ

東北大学職員組合定期大会
7月26日(土) 13時15分
金研講堂(2号館1階)
大会スローガン
**すべての教職員にとって
働きがいのある場所、
働きやすい環境、
働くことに正当な評価が
なされるような
大学をめざして**

先生の答えです。
井原先生は科学技術
史が専門で、講演は日
本の原子力政策を振り
返り、科学者の役割を
問うものでした。戦後、
原子力の「平和利用」
は国民的な支持を受け
て推進されました。し
かし同時に、保守勢力
の影響を強く受けなが
ら推進されてきたのも
事実です。彼らにとっ
て原子力とは核兵器の
ことです。日本が核武
装できる技術を開発・
保持すること
が原子力政策
の根底にある
ことが閣僚か
らも明言され
ています。
「民主・自
主・公開」と
いう原子力利
用の3原則は、
軍事機密や特
許などによっ
て浸食され、
科学者の一部
は、基礎研究
だから、社
会的に有用だ

先生の答えです。
井原先生は科学技術
史が専門で、講演は日
本の原子力政策を振り
返り、科学者の役割を
問うものでした。戦後、
原子力の「平和利用」
は国民的な支持を受け
て推進されました。し
かし同時に、保守勢力
の影響を強く受けなが
ら推進されてきたのも
事実です。彼らにとっ
て原子力とは核兵器の
ことです。日本が核武
装できる技術を開発・
保持すること
が原子力政策
の根底にある
ことが閣僚か
らも明言され
ています。
「民主・自
主・公開」と
いう原子力利
用の3原則は、
軍事機密や特
許などによっ
て浸食され、
科学者の一部
は、基礎研究
だから、社
会的に有用だ

から…と様々な形で産
官学の原子力複合体に
取り込まれてきました。
井原先生は、科学者が
科学に対して誠実であ
るだけでは十分ではな
いことを訴えられます。
原発の抱える多くの
問題点を、具体的、実
証的に明らかにしたお
二人の講演は、原発の
ない社会の実現のため
の科学者の闘い方を身
をもって示されたもの
でした。
(理) 田嶋玄一さん

第60回日本母親大会in神奈川
8月2日(土) 3日(日)
記念講演：小森陽一氏(東京大学大学院教授)
「子どもたちに憲法が輝く明日を」

